



広報リポーターの突撃取材!



開所を祝い、出席者で記念写真

安全安心の 連携を強化

閑静な住宅地から、通学路でもある国道281号沿いに新築移転した大川目駐在所（和久井隆士所長）。5月18日の開所式では地域の防犯グループなどの懇親会も開き、大川目の安全安心の拠点として、さらなる連携強化を確認していました。（小倉利之リポーター）



集中、白熱、5年男子100m走のスタート

声援を受けて 記録に挑戦

第6回市小学校陸上記録会は6月15日、晴天の下、久慈総合運動場で盛大に開かれました。各校の5・6年生が、100m走や走り幅跳びなど30種目に出場。後輩や保護者など大勢の声援を背に受けながら、選手たちは記録更新に挑戦しました。（梅沢政隆リポーター）

世界に誇る“海”大切に

東京海洋大講演会

東京海洋大学の刑部真弘教授と、客員准教授さかなクンによる講演会は6月8日、市内催事場で開催。2人のトークに約150人が夢中になりました。

刑部教授は、世界6位という日本の海の大きさと貴重さをユーモアを交えながら説明。さかなクンは得意のイラストで会場を盛り上げました。最後に刑部教授は「日本の海には多くの魚や資源があります。津波で大きな被害がでましたが、世界に誇る海を大切にしてほしいです」と呼び掛けました。

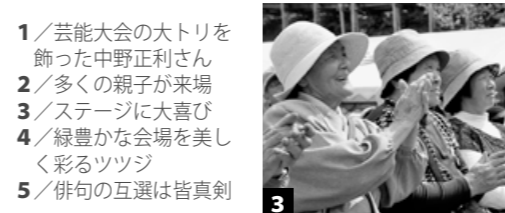
佐々木悠太くん（久慈小4年）は「すごくおもしろかった！ さかなクンの絵は早くてうまい！ また会いたいです」と興奮気味に話していました。



絶妙なトークで観客を楽しませた、さかなクン（左）と刑部教授



- 1 / 芸能大会の大トリを飾った中野正利さん
- 2 / 多くの親子が来場
- 3 / ステージに大喜び
- 4 / 緑豊かな会場を美しく彩るツツジ
- 5 / 俳句の互選は皆真剣



多彩な催しで大盛況

平庭高原つつじまつり

平庭高原つつじまつり（同実行委主催）は6月11日と12日の2日間、久慈平庭県立自然公園で開かれ、昨年より1,000人多い11,800人で大盛況。多彩な催しで、初夏の平庭高原がにぎわいました。

メイン開場の平庭中継基地には、短角牛の串焼きや、豆腐田楽、まめぶ汁などの出店がずらり。民具の販売や手作り体験も人気を集めていました。

12日には平庭山荘で俳句大会、中継基地のステージでは芸能大会も開かれました。芸能大会では、荷軽部太鼓のほか、歌謡サークル「歌の会なかま」のメンバーも出演し、自慢ののどを披露。飛び入りでステージに立つ人も出るなど、大いに盛り上がりました。

最前列でステージを楽しんだ大道トメさん（宇部町）は「おいしいものを食べて、たくさん歌も聞けて、本当に楽しかったです。私も一緒に歌いたくなりましたね。良い1日になりました」と満面に笑みを広げていました。

世話して育む思いやり

人権の花運動

花の植栽や世話を通じて、思いやりの気持ちや人権意識を育む「人権の花運動」が、宇部、侍浜、長内の3小学校で行われました。

6月9日は侍浜小学校で実施。3・4年生45人が人権擁護委員と一緒に、150本の花苗を丁寧に植栽しました。実施した3校は半年間、植えた花の世話をを行います。



花を思いやり、やさしく丁寧に作業する児童



おはやしを奏でながら練り歩いた参加者

豊穣、息災祈って行列

枝成沢虫まつり

枝成沢虫まつりは6月5日に開催。約80人が町内を練り歩き、五穀豊穣や無病息災を祈りました。「まつりは災いよけの行事。まちを少しでも元気づけたと思います」と、枝成沢町内会の谷地秀人会長。行列出発前には、地域で集めた東日本大震災の義援金を山内隆文市長に手渡しました。

健康な歯をこれからも

イー歯8020表彰式

健康な歯が20本以上ある80歳以上の人を称えるイー歯トーブ8020コンクール表彰式は6月3日、元気の泉で開催。謝辞で小林竹藏さん（侍浜町）は「深く感動。これからも歯を保ち続けます」と受賞を喜んでいました。受賞者は次のとおり。（敬称略）▶小林竹藏（侍浜町）▶西村徳治郎（夏井町）



賞状を受け取る小林さん（左）



窯の中と外で、協力して炭出し作業

地域の産業 学んで自信

荷軽部小で炭焼き

荷軽部小学校（小保内悟校長・児童16人）は6月1日、本年度の炭焼き体験学習をスタート。児童は講師の蕪澤彦蔵さんの指導の下、窯からの炭出しと原木の立てこみをし、地域産業を学びました。

横葉映貴くん（同5年）は「上手にできた！ 良い炭ができると思います」と自信をみせていました。

安心できる地域目指し

市と寺里が協定

市と寺里町内会（山崎石雄会長）は5月31日、災害時要援護者名簿の共有について個人情報保護に関する協定を締結しました。

山崎会長は「誰もが安心して暮らせる地域を目指し、活動していきたいです」と意欲。同協定の締結は今回で18町内会に。地域の支え合い活動が広がっています。



活動に意欲をみせる出席者



一人一人に優しく声を掛けながら手渡し

笑顔と真心をお届け

小国小すずらん訪問

小国小学校（佐藤寛校長・児童10人）は5月27日、すずらん訪問を実施。病院や福祉施設の利用者などにスズランと直筆の手紙を手渡し、笑顔と真心を届けました。

二橋陽一郎くん（同6年）は「スズランは小国大火後、一番に咲いた強い花。皆さん元気になってほしいです」と心を込めていました。